

令和7年度 県立病院等事業会計当初予算（案）のポイント

令和7年2月
岩手県医療局

令和7年度事業運営方針

岩手県立病院等の経営計画（2025 - 2030）の初年度として、厳しい経営状況の中、喫緊の課題である経営改善の取組を軌道に乗せながら、県立病院の機能分化・連携強化を推進し、県民に良質な医療を提供

《 経営計画に掲げる5つの基本方向ごとの主な重点取組事項 》

1

地域の医療需要の動向を踏まえた県立病院の機能分化と連携強化

- 県民に県内で高度・専門医療を安定的に提供できる体制を確保
- 民間医療機関が立地しにくい地域では、**県立病院が身近な医療を継続して提供** 等

2

良質な医療を提供できる環境の整備

- 高度医療器械の重点整備、病院の施設・設備の計画的な整備
- オンライン診療の拡充、RPAの本格導入等、**医療現場のデジタル化**の推進 等

3

職員の確保、育成と魅力ある勤務環境の整備

- **中堅層医師の確保、医師の地域・診療科偏在の解消**に向けた奨学金養成医師の**配置調整ルールの見直し**
- 医師の**専門研修プログラムの充実**
- 魅力ある勤務環境の整備に向けた**働き方改革等の継続実施** 等

4

職員の適正配置

- 各病院の**機能分化と連携強化**の方向性を踏まえた**職員の重点配置**
- 病床規模等を踏まえた**職員の適正配置**
- **事務・業務の本庁集約**の推進による病院の**業務負担を軽減** 等

5

持続可能な経営基盤の確保

- **新入院患者の受入強化、DPC分析によるクリニカルパスの見直し**等、収益強化策の実施
- **給与費の適正化、薬品・診療材料の廉価購入**等、費用削減の取組の徹底
- **地方財政措置の拡充、診療報酬改定等に係る国への要望** 等

令和7年度県立病院等事業会計当初予算（案）の概要

1 予算の内訳

(1) 患者数 (人)

区 分	令和7年度 当初	令和6年度 当初	比 較
入院患者数	1,114,000	1,120,000	△6,000
外来患者数	1,644,000	1,677,000	△33,000

(2) 収益的収支 (千円)

区 分	令和7年度 当初	令和6年度 当初	比 較
収 益 A	119,445,404	119,911,658	△466,254
うち入院収益	64,942,442	65,341,840	△399,398
うち外来収益	30,030,523	30,632,605	△602,082
うち医業外収益	18,330,406	17,887,477	442,929
費 用 B	122,937,781	121,735,532	1,202,249
うち給与費	63,263,992	61,814,833	1,449,159
うち材料費	30,067,311	29,714,877	352,434
うち経費	18,718,902	19,132,200	△413,298
差引損益 (A-B)	△3,492,377	△1,823,874	△1,668,503
経常損益	△3,492,377	△1,823,874	△1,668,503

(3) 資本的収支 (千円)

区 分	令和7年度 当初	令和6年度 当初	比 較
収 入	15,340,796	14,758,929	581,867
支 出	22,031,194	20,634,188	1,397,006
(1)建設改良費	9,162,235	8,461,655	700,580
(2)企業債償還金	11,350,559	11,654,133	△303,574
(3)他会計からの長期借入金償還金	1,000,000	0	1,000,000
(4)投資	518,400	518,400	0
差引(内部留保資金充当)	6,690,398	5,875,259	815,139

2 収益的収支予算の主なもの

(1) 医業収益

人口減少等により患者数の減を見込むものの、地域の医療機関等との連携強化やレスパイト入院の受入等、県立病院に求められるニーズに対応しながら、入院患者を確保するとともに、上位・新規施設基準の取得等による診療単価の向上により、入院・外来収益はおおむね横ばいで推移すると見込んでいます。

(2) 医業費用

病棟再編等による職員の適正配置や、後発医薬品の使用促進、エネルギーの消費量削減等、費用の抑制に努める一方、給与改定等に伴う給与費の増加や、医療の高度化による材料費の増加等により医業費用は増加を見込んでいます。

ア 給与費 63,264百万円 (前年度比 1,449百万円)

イ 材料費 30,067百万円 (前年度比 352百万円)

(3) その他

資金不足額の解消に充てるため、企業債（経営改善推進事業）4,500百万円の借入れを見込んでいます。

3 資本的収支予算の主なもの

(1) 建設改良費

災害医療体制の充実、脱炭素化及び施設・設備の老朽化に対応するための工事費や、高度医療を充実させるため医療器械の計画的・重点的な整備費等を計上しています。

ア 久慈病院浸水対策工事 427百万円

イ 照明器具改修工事 2,518百万円

ウ 手術用ポット手術ユニット等医療器械購入費 3,267百万円

(2) 投資

計画的な医師養成を目的とする医療局医師奨学資金貸付金として、518百万円を計上しています。